

○国土交通省の技術研究開発の方向性について明確化

○平成15年度(2003年度)から平成19年度(2007年度)までの5カ年を計画期間

(社会資本整備重点計画の内容、策定スケジュールと整合)

○産学官における研究者が共通の認識を持ち、より効率的な技術研究開発が促進されることを期待

【産】民間企業は生産性向上や品質向上につながり比較的短期に成果が得られるような、リスクが小さく企業としての採算性が期待でき、実用化に結びつく技術研究開発を中心に実施

【学】大学は広範囲な基礎的研究、及びその実用化に向けた研究を中心に実施

【官】国土交通省は研究の方向付けと、リスクが大きく膨大な資金を必要とする技術開発、国家的プロジェクト、国際的にリーダーシップを取るべきプロジェクトなど、国家的見地から進めるべき技術研究開発を実施

⇒役割分担することにより、産学官の連携をより効果的なものとする

○国土交通省の関係部局・研究機関においては、本技術基本計画の内容に整合したかたちで、それぞれの分野における技術研究開発に関する、より具体的な施策を推進

国土交通省技術基本計画の構成

はじめに

プロローグ

この技術基本計画をベースとして、今後国土交通省に関連する技術研究開発を進め、2025年頃に実現を目指す社会のイメージを物語風に記載

技術研究開発の戦略について

(1)開発戦略

技術研究開発の方向性に関する内容。5つの目標

重点プロジェクト

開発戦略の方向性を具体化するため、重点的に実施する10の研究開発テーマ

(2)推進戦略

開発成果を確実に実用化していくための仕組みに関する戦略

(3)人材・基盤戦略

技術振興のために人材・基盤に関する戦略

(4)コミュニケーション戦略

国土交通省の施策について国民に理解を得るための戦略